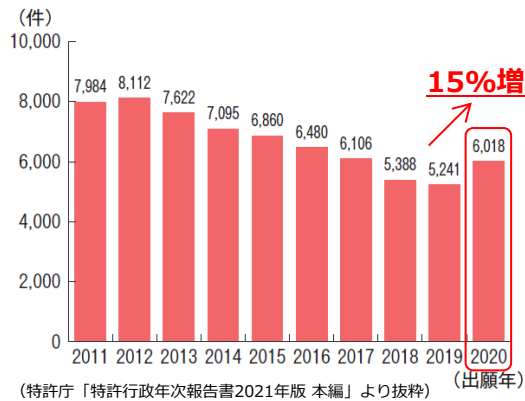


# 感染症対策と実用新案制度

2020年の実用新案登録出願の件数が前年比15%増となった。新型コロナウイルス感染症対策に関する、マスク等の技術が活発に考案されたため、とされている。  
(特許庁「特許行政年次報告書2021年版 本編」)

1-1-44図 【実用新案登録出願件数の推移】



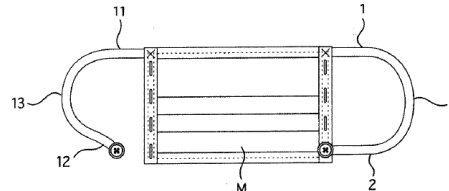
実用新案権は**無審査登録主義**であり、特許権に比べて登録までの期間が短い。上記の件数増加は、新型コロナ特需に合わせた出願戦略が一因と思われる。

一方、実用新案権には、例えば以下の制限がある。

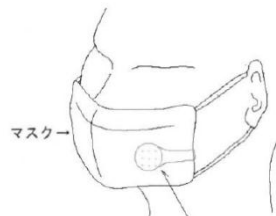
- ◆ 特許権にはある**過失の推定規定が働かない**  
⇒ 損害賠償請求には警告等が必要
- ◆ 警告等には、先立って**肯定的な実用新案技術評価書**  
(特許庁が審査)の取得がほぼ必須

このように権利行使には一定の制限があるが、ライフサイクルの短い流行商品等の保護には有効である。実用新案制度について、特徴を理解して上手く活用されたい。

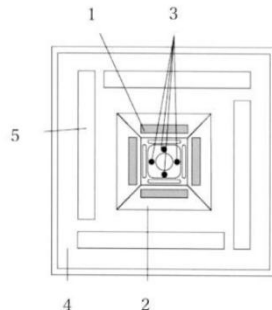
## 感染症対策関係の実用新案登録事例



実用新案登録第3232603号  
「飲食兼用マスク」  
2021年6月4日登録



マスク用小型拡声器  
※マスクに挿み込む形にし、表面にスピーカー、内側にマイクがある  
実用新案登録第3230110号  
「マスク用小型拡声器」  
2020年12月11日登録



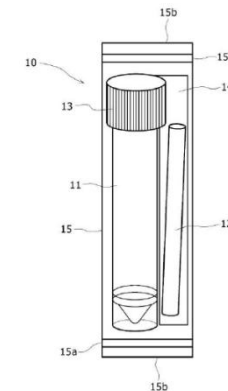
実用新案登録第3232635号  
「麻雀牌・点棒抗菌銅シート」  
2021年6月8日登録



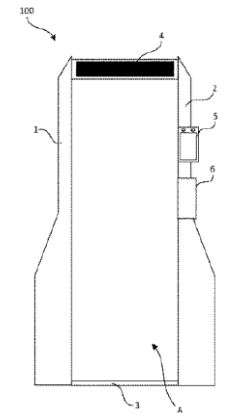
※新型コロナウイルス対策は、日本政府の「SDGsアクションプラン2021」で重点事項に据えられている



実用新案登録第3232366号  
「保冷容器」  
2021年5月18日登録



実用新案登録第3232338号  
「唾液採取キット」  
2021年5月18日登録



実用新案登録第3230570号  
「非接触ゲート型除菌装置」  
2021年1月18日登録